

# ウクライナ支援 貢献したい

崇城大生 オリジナル商品デザイン

ウクライナの建造物や言葉モチーフにしたビーズの刺しゅう(崇城大提供)



## 21、22日 熊本市で1200点販売

崇城大芸術学部デザイン学科の学生が21、22の両日、熊本市中央区の蔦屋書店熊本三年坂で「平和」をテーマにデザインしたオリジナル商品を販売する。売りに上の一部は、ウクライナな

どの支援活動に取り組む団体に寄付する。

同科の1～3年生はロシアによるウクライナ侵攻をきっかけに、世界の紛争地の実態を学習。ウクライナの被害をはじめ、カンボジ

アに今なお残る地雷や、コンゴの少年兵問題などを学んだ。

その後16チームに分かれデザインを考案。ウクライナの伝統的な建造物をモチーフにしたビーズの刺しゅうや、多様性をテーマにした絵本など、約50種類1200点以上の商品を開発した。

両日は同店地下1階に、アクセサリーやTシャツなどを並べる。価格は500～4000円程度で、ポストカード作りの体験もある。同科の馬頭亮太助教は「デザインが紛争を解決することは難しい。それでも何かしらできることはないかと向き合い考えた」と話している。販売は午前10時～午後8時。

(澤本麻里子)